

いしかわの生物多様性を守るために ～希少種の保護～

希少種とは、 絶滅の危機に瀕している種及び絶滅の危機が増大している種のことです。

「いしかわレッドデータブック2020」では、絶滅危惧種として、動物208種、植物461種を掲載しており、開発等の行為にあたっては、これらに十分配慮することが求められます。

法律又は条例により、以下の動植物種は捕獲、採取等の行為が禁止されています。

環境省

国内希少野生動植物種

石川県内に21種

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」に基づき、458種(R7.2.12 現在)の「国内希少野生動植物種」が指定されており、このうち石川県には21種の生息・生育が確認されています(下記ほかクロツラヘラサギ、オジロワシ、アカモズ、ヤイロチョウ、カワシンジュガイ*1、カタハガイ*1、ホムラハコネサンショウウオ*1、ゲンゴロウ*1、マルガタゲンゴロウ*1)。指定された種については、捕獲や採取などは原則として禁止されます。

*1特定第二種:販売・頒布等の目的で行う捕獲等が原則禁止



トキ(トキ科)

平成22年に佐渡の放鳥個体が県内で初めて確認され、その後、一時的な定着もみられた。今後の飛来も期待される。



ライチョウ(キジ科)

白山では絶滅していたが、平成20年から平成28年まで白山で再確認された。今後の飛来も期待される。



コウノトリ(コウノトリ科)

県内全域で不定期に飛来や一時的な滞在が確認されている。今後の飛来や繁殖も期待される。



ヘラシギ(シギ科)

秋の渡りの時期に、金沢から羽咋市までの砂浜海岸で散発的に1、2羽が渡来するのみ。世界的にも数が少ない。



イヌワシ(タカ科)

白山山系を中心に生息。翼開長は2mに達する。石川県の県鳥。



クマタカ(タカ科)

医王山以南の山地帯を中心に、県内の推定生息数は100羽程度。



チュウヒ(タカ科)※

河北潟などのヨシ原に営巣し、ネズミ類等を餌とする。県内の成熟個体数は数十羽。



ハヤブサ(ハヤブサ科)

加賀と能登の海岸部の断崖などで繁殖。繁殖場所は限られている。



アベサンショウウオ

(サンショウウオ科)

平成17年に小松市、能美市で生息を確認。県内に生息する個体は非常に少ない。



シャープゲンゴロウモドキ

(ゲンゴロウ科)※

金沢以北の水質の良い池沼や休耕田に生息。採集圧や外来種の侵入により減少。



マルコガタノゲンゴロウ

(ゲンゴロウ科)※

能登半島の植生の豊かなため池などに生息。採集圧や外来種の侵入により減少。



ホテイアツモリ(ラン科)

白山の亜高山帯に、極めて稀に見られる多年生植物。採集圧も危惧される。

県では、「ふるさと石川の環境を守り育てる条例」を定め、特に保護の必要性が高い野生動植物を「石川県指定希少野生動植物種」として、これまでに21種を指定しています。指定された種については、捕獲や採取などは原則として禁止されています。



コアジサシ(カモメ科)
4月中旬に日本に飛来する夏鳥。繁殖地は、県内で数か所に限られる。



トミヨ(トゲウオ科)
手取川扇状地と志賀町の、湧き水が流れ込む河川にのみ生息。



ホトケドジョウ(ドジョウ科)
流れの緩やかな小川やため池、湿地などに生息。開発などの影響で生息地が減少。



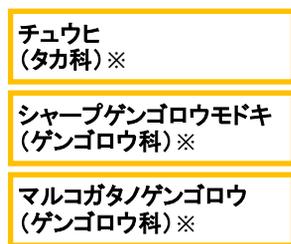
イソコモリグモ(コモリグモ科)
砂浜の海浜植物帯が主な生息地。砂浜海岸の減少や環境悪化により、減少。



イカリモンハンミョウ(ハンミョウ科)
羽咋市から志賀町までのまでの砂浜海岸にのみ生息。



ホクリクサンショウウオ(サンショウウオ科)
里山の荒廃等により、個体群の縮小が危惧される。



チュウヒ(タカ科)※

シャープゲンゴロウモドキ(ゲンゴロウ科)※

マルコガタノゲンゴロウ(ゲンゴロウ科)※

※先に県の指定希少野生動植物種に指定され、その後、国内希少野生動植物種にも指定された。



サドクマユリ(ユリ科)
能登半島に分布。現在確認されている生育数は、極めて限られている。



ウミドリ(サクランソウ科)
能登地方外浦の岩石海岸の塩性湿地にわずかに生育。



オキナグサ(キンポウゲ科)
加賀地域の河岸の極めて限られた場所に生育。



ヒメヒゴタイ(キク科)
能登半島の一部海岸部に生育。生育環境の悪化が危惧される。



センダイハギ(マメ科)
能登半島の一部海岸部の極めて限られた場所に生育。生育環境の悪化が危惧される。



トキソウ(ラン科)
日当たりのよい湿地に生育。湿地環境の消失や採集圧により減少。



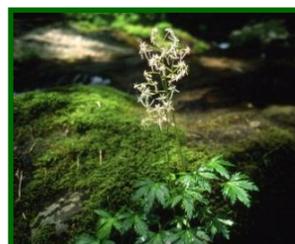
サギソウ(ラン科)
丘陵地の湿地等に生育。湿地環境の消失や採集圧により減少。



イソスマレ(スマレ科)
海岸砂丘等に生育。県内の生育地は3か所。



イシモチソウ(モウセンゴケ科)
現存数は極めて限られ、採集圧も危惧される。



エチゼンダイモンジソウ(ユキノシタ科)
加賀地域山間地の谷あいの湿った岩場などに生育。



トウカイコモウセンゴケ(モウセンゴケ科)
生育地は加賀地域に限られ、生育地の改変や採集圧が危惧される。



カザグルマ(キンポウゲ科)
生育地は加賀地域に限られ、採集圧が危惧される。

石川県生活環境部
自然環境課

〒920-8580
石川県金沢市鞍月1-1

TEL: 076-225-1476
FAX: 076-225-1479

E-mail:
e170500@pref.ishikawa.lg.jp

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/index.html>